

事務事業名		葛生清掃センター焼却業務委託事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり						担当係	葛生清掃センター		担当課長名	山田 弘
	施策	1 ごみの発生抑制と資源の有効活用						新規事業・継続事業	継続事業		継続事業	
	基本事業	3 搬入ごみの適正処理の推進						実施計画事業・一般事業	一般事業		一般事業	
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	8277	一般	4	2	2	葛生清掃センター焼却業務委託事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業			
							実施方法	一部委託				
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	6年度～ 年度		根拠法令 条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)			
							リーディングプロジェクト	該当なし				
							市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
葛生清掃センターごみ処理施設において、可燃ごみを年間をとおして計画的且つ効率的に焼却処理するにあたり、焼却施設の運転管理を委託する事業である。			可燃ごみ焼却施設の運転管理を委託						
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
焼却施設の運転日数		日	302	301	301	301	301		
運転管理委託に要した経費		千円	83,160	64,768	64,768	64,768	64,768		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
① 葛生清掃センターごみ焼却施設 ② 可燃ごみ等(搬入ごみ)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			可燃ごみ等の量	t	9,083	9,125	8,273	8,046	7,831
目的									
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
① ごみ焼却施設が、適正に運転管理される。 ② 可燃ごみ等が、適正に焼却処理される。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			焼却処理された可燃ごみ等の量	t	9,212	8,965	8,273	8,046	7,831
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
負荷を与えない適切な処理・処分ができています。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			搬入ごみが中間処理、最終処分において、適正に処理・処分されなかった件数	件	0	0	0	0	0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費	金額	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		83,160		64,768		64,768		64,768		64,768
	事業費計(A)	千円		83,160		64,768		64,768		64,768		64,768
事業費の内訳	千円	項目	事業費	3	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
		業務委託料	83,160	業務委託料	64,768	業務委託料	64,768	業務委託料	64,768	業務委託料	64,768	
人件費	正規職員従事人数	人	1		1		1		1		1	
	のべ業務時間	時間	208		208		208		208		208	
	人件費計(B)	千円	809		820		820		820		820	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	83,969		65,588		65,588		65,588		65,588	

事務事業名	葛生清掃センター焼却業務委託事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	葛生清掃センター
-------	------------------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	葛生清掃センターが平成6年3月に竣工し、翌4月からごみ処理施設の適正で効率的な管理運営を図るために、焼却施設の運転管理委託が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成12年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、更に平成14年12月からは廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、ごみ焼却施設の構造基準や維持管理基準が改正されて、ダイオキシン類の排出濃度基準や施設の維持管理基準が遵守されない場合は、法第9条の2(許可の取消し等)により、県知事から設置許可の取り消しや改善命令、使用の停止命令がされる様に変化した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	ごみ焼却施設を適正に運転管理することが、適正なごみ処理につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条により、ごみ処理は市の責務とされている。また、佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例でも一般廃棄物の減量化対策を講ずるとともに、その適正な処理を図るとされている。市民との協働という視点では、施設の運転管理業務を委託で実施している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	搬入されたごみの100%を環境に配慮し適正に焼却処理を行なうことは法律や条例に基づく自治体の責務であり、また、対象が搬入ごみやごみ処理施設で意図がごみ処理施設で適正に処理がされることなので妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	葛生清掃センターに搬入される可燃ごみ等を、100%適正に焼却処理することが成果であるため向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業はありません。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	葛生清掃センターに搬入される可燃ごみ等を、100%適正に焼却処理するための事業費であるため、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	家庭からごみステーションに排出されるごみは無料であるが、葛生清掃センターに持ち込まれる事業所や家庭からのごみは、その量に応じて手数料を徴収しているため見直す必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	現在の葛生清掃センターでのごみ焼却を行わなくなった場合(例えばみかもクリーンセンターでごみ焼却等)、この事業は廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					